

修了評価の方法

1. 知識の習得確認

- 介護職員初任者研修カリキュラムのうち、『①職務の理解』『⑩振り返り』を除いた 8 科目の範囲内で筆記試験問題を作成する
- 試験問題は、正誤選択形式、記述形式、語句選択形式とし、知識として知っていることを確認する。
- 合格基準は 100 点満点中 70 点とする。
- 70 点に満たない者に対しては、再試験を実施する。再試験に係る費用は無料。
- 同じく 70 点に満たなかった者で、講師による補講を希望する場合、有料（1 時間辺り 3,000 円）にて受け付けるが、講師の都合により希望する日時に補講が出来るとは限らない。
- 再試験・再評価は最大で 10 回までとし、最終試験でも不合格となった者は、未修了扱いとなる。

2. 技術の習得確認

- 介護職員初任者研修カリキュラムのうち、『 ⑨こころとからだのしくみと生活支援技術 』において、介護技術の習得の確認を行う。
- 技術の確認は、ある状態像の利用者とその環境を想定した中で、受講生に実際に動いてもらい確認する。
- 声かけ（確認）、睡眠（体位・姿勢）、整容（被服）、移動移乗、排泄の 5 つの観点から、技術を習得しているかのチェックシートを作成し、その項目に応じて評価する。
- 合格基準は 100 点満点中 70 点とする。
- 70 点に満たない者に対しては、再試験を実施する。再試験に係る費用は無料。
- 同じく 70 点に満たなかった者で、講師による補講を希望する場合、有料（1 時間辺り 3,000 円）にて受け付けるが、講師の都合により希望する日時に補講が出来るとは限らない。
- 再試験・再評価は最大で 10 回までとし、最終試験でも不合格となった者は、未修了扱いとなる。